

## 新青丸 共同利用研究航海報告書

- \* 航海番号 KS-25-4次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 亜熱帯モード水が鉛直拡散を介して生物地球化学過程に及ぼす影響  
(英文) Impact of the Subtropical Mode Water on biogeochemistry via vertical mixing
- \* 観測海域 (和文) 黒潮続流南方海域  
(英文) South of the Kuroshio Extension
- \* 航海期間 令和 7年 5月 2日 (金) ~ 令和 7年 5月 12日 (月)
- \* 出港日時・場所 5月 2日 14時 高知港
- \* 入港日時・場所 5月12日 11時 横須賀港
- \* 寄港期間・場所 なし
- \* 研究課題 亜熱帯モード水が鉛直拡散を介して生物地球化学過程に及ぼす影響
- \* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
桂 将太、東北大学大学院 理学研究科、助教、shota.katsura.e8@tohoku.ac.jp
- \* 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
  1. 亜熱帯モード水の水平分布、および生物地球化学 (BGC) パラメーターの鉛直構造、桂 将太 (shota.katsura.e8@tohoku.ac.jp)、XCTD 観測、CTD 観測及び採水、Underwater Vision Profiler (UVP) 付き BGC フロートの投入・回収、CTD 取り付け型 UVP、硝酸塩計 Deep SUNA
  2. 亜熱帯モード水域の乱流の鉛直プロファイル、長井 健容 (tnagai@kaiyodai.ac.jp)、乱流計付き BGC フロートの投入・回収、Underway-VMP、SUNADAYODACam
  3. フロート搭載型次世代 pH センサー試験機の性能評価試験、細田 滋毅 (hosodas@jamstec.go.jp)、pH センサー観測
  4. pH・アルカリ度計測システムの性能評価試験、茅根 創 (kayanne@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、pH・アルカリ度センサー観測

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

桂 将太・東北大学 理学研究科・助教

細田 滋毅・海洋研究開発機構 地球環境部門・グループリーダー

鋤柄 千穂・海洋研究開発機構 地球環境部門・副主任研究員

中野 善之・海洋研究開発機構 技術開発部・副主任研究員

茅根 創・東京大学 工学系研究科・特任研究員

長井 健容・東京海洋大学海洋 環境科学部門・准教授

井上 龍一郎・海洋研究開発機構 地球環境部門・主任研究員

中村 航・東京大学大気海洋研究所 共同利用・共同研究推進センター・特任研究員

Catherine Smith・東京大学 大気海洋研究所・大学院生

Randi Firdaus・東北大学理学研究科・大学院生

Jedi Jamari Manullang・東北大学理学研究科・大学院生

Gloria Silvana Duran Gomez・東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科・大学院生

Kelly Sofia Manyuillca Gutierrez・東京海洋大学大学院 海洋環境科学科・特別聴講学生

多田 拓哉・北海道大学水産科学院・大学院生

\* 航跡・測点図

